

しょうがくせい みな  
小学生の皆さんへ

つゆあまどお なつやす まえさいご しゅう ことし なつやす とし みじか  
梅雨明けが待ち遠しいですね。夏休み前最後の週となりました。今年の夏休みはいつもの年より短くなっ  
てしまいましたが、4月からの緊張の日々で疲れた体や心をちょっと休め、また次の学校生活に備えてほし  
いと心から願っています。

しんがた かんせんしょうかくだい せいかつ ふ かえ ふ しぎ じかん  
ほぼ5か月にもなる、新型コロナウイルス感染症拡大のもとでの生活を振り返ると、とても不思議な時間を  
すごしてきたような気がします。この間に私たちが学んだことは何だったのでしょうか。もちろん一人ひとり違  
う経験であったと思いますが、自分ではどうしようもない、「なぜ」とか「どうしたら」と問いかけてもすぐには  
答えが出ないような事態を、世界の人々とともに我慢してきたということ、そのこと自体の中に、とても大切な  
学びがあったのではないのでしょうか。決して楽しい経験ではありません。スピードに慣れた現代人にとっては、  
一刻も早くすっきりしたいという思いは山々ですが、このような思うようにならない状態は数年続くのかもしれ  
ません。

げんたい せかい さまざま もんだい せかい ひとびと かいけつ ちから せいき い にんげん もと  
現代の世界の様々な問題を世界の人々といっしょに解決していく力、これは21世紀を生きる人間に求めら  
れる能力ですが、「どうしようにも、どうにもできない事態」とともに生きていくこと、これも現代において大切  
な能力といえるのではないのでしょうか。それは決して「どうにでもなれ」と思うことではありません。自分にと  
って気持ちよくないことでも引き受けることのできる柔らかさといった方がよいのかもしれませんが。

さいわ がつこう まな みな すば じぶん  
幸い、カトリックの学校で学ぶ皆さんには、素晴らしいモデルがあります。それは、自分ではどうしてよいか  
わからないようなことに会った時、いつも「思いめぐらす」という姿勢でおられたマリア様です。そして、今  
はわからなくても、神様が必ずよいようにしてくださるので、それを信じて待ちましょう、というのがマリア様  
の態度でした。その「神様にお任せする」生き方をなされたからこそ、マリア様は神の母、全人類の母となら  
れたのです。

まいにち かんせんかくだい し さまざま かんが かた き ごと あふ じょうほう つた  
毎日、感染拡大についてのお知らせや様々な考え方や決め事など、溢れるほどの情報が伝えられ、わから  
なくなったり不安になったりする日々です。そんな中、いろんなことをよく見て、しっかりと考え、思いめぐらし  
ながら、神様へのしっかりとした信頼をもって、この世界が変えられて  
いくのを待ち続けることにいたしましょう。

